PRESS RELEASE
報道発表資料

日本の魅力を、日本のチカラに。
JNTO 日本政府観光局

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 30 年 9 月 27 日
（平成 30 年 10 月 2 日更新）
理事長　清野　智

平成 30 年度上期 MICE アンバサダーに 6 名が就任しました！

日本政府観光局（JNTO）では、国際会議の日本誘致を推進するため、学術分野や産業界において国内外に対し強い発信力やネットワークを持ち、「日本の顔」として「国際会議開催地としての日本」の広報活動や国際会議の誘致活動に寄与いただける有識者の方々を「MICE アンバサダー」として任命し、その活動に対して支援を行う「MICE アンバサダープログラム」を展開しています。平成 30 年度には、MICE アンバサダーの活躍により、現在までに 5 件*1 の国際会議の日本への誘致が決定しています。

この度、国際会議の更なる誘致促進に向けて、新たに以下の 6 名を任命しました。これにより、これまでにのべ 65 名のアンバサダーに就任いただいています。

平成 28 年に日本国内で開催された国際 MICE 全体による経済波及効果は、約 1 兆 590 億円（うち国際会議は約 6,789 億円）と推計され*2、改めて MICE 誘致の意義に注目が集まっています。JNTO では今後も、「MICE アンバサダープログラム」を効果的かつ強力に展開することにより、更なる国際会議案件の誘致拡大に努めます。

*1;会議詳細は別紙 2 をご覧ください。
*2;平成 29 年度 観光庁調査結果

◆平成 30 年度上期 MICE アンバサダー

荒井 秀典（あらい ひでのり）
国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
病院長

今井 一郎（いまい いちろう）
第 20 回 国際有害有毒藻類学会
実行委員会 委員長
北海道大学 名誉教授

佐藤 毅彦（さとう たけひこ）
国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所
太陽系科学研究系 教授

関 哲朗（せき てつろう）
文教大学大学院
情報学研究科/情報学部 教授
一般社団法人
プロジェクトマネジメント学会 会長

高田 毅士（たかだ つよし）
東京大学 大学院工学系研究科
建築学専攻 教授

田中 良哉（たなか よしや）
産業医科大学医学部第一内科学講座 教授
同・大学院医学研究科長

※敬称略。プロフィールの詳細は別紙 1 をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先：MICE プロモーション部　安藤・布施・豊島・康
TEL：03-6691-4852　Email：conference_ambassador@jnto.go.jp

別紙 1

◆MICE アンバサダー認定者（平成 30 年度上期）

Japan. Conference Ambassador

荒井 秀典（あらい ひでのり）

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 病院長

加齢に伴う疾患の基礎・臨床研究の第一人者。Master Class of Aging を毎年アジア各都市で開催し、アジア諸国の研究者との共同研究や若手研究者への指導などを積極的に行う。日本老年医学会副理事長、日本老年学会理事、日本サルコペニア・フレイル学会代表理事を務めている。

今井 一郎（いまい いちろう）

第 20 回 国際有害有毒藻類学会 実行委員会 委員長、 北海道大学 名誉教授

プランクトン学、海洋環境微生物学などを専門とし、有害有毒プランクトンの発生機構や発生防除に関する研究の第一人者。日本プランクトン学会会長、沿岸環境関連学会連絡協議会代表などを歴任。平成 28 年度日本水産学会賞、第 3 回アジア海洋生物学貢献賞受賞。

佐藤 毅彦（さとう たけひこ）

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 太陽系科学研究系 教授

惑星大気圏・電磁圏科学の専門家で、木星オーロラ研究で世界の第一人者。また、「あかつき」金星探査計画では近赤外カメラ IR2 主任研究員とプロジェクトサイエンティストを兼務。現在アジア・オセアニア地球惑星科学会（AOGS）の事務総長を務めている。

関 哲朗（せき てつろう）

文教大学大学院情報学研究科/情報学部 教授、 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 会長

IPMA Japan Representative、ISO TC258 (旧 PC236)国内対応委員会委員長、HoD、日本代表エキスパート、国土交通省 MOTAS 関連委員会委員長、トレーサビリティ・サービス推進協議会委員の他、経済産業省、同資源エネルギー庁などの専門委員会委員、学協会の役員など数々の要職を歴任。また多くの国際会議を開催した経験を持ち、プロジェクトマネジメント分野において国際的な人脈を築いている。

高田 毅士（たかだ つよし）

東京大学 大学院工学系研究科 建築学専攻 教授

原子力地震工学分野、構造安全性の専門家で、ISOTC98 国内委員会委員長、国際原子力構造工学協会の理事、構造物の安全性と信頼性に関する国際協会の理事に就任。地震リスクマネジメント分野での研究の第一人者。コロラド大学ボールダー校客員教授、ワイマール・バウハウス大学客員教授などの経歴がある。

田中 良哉（たなか よしや）

産業医科大学医学部第 1 内科学講座 教授、 同・大学院医学研究科長

膠原病、リウマチ性疾患の専門家。自己免疫、代謝などの研究や臨床を通じて世界的に広くネットワークを持っている。2008 年に日本リウマチ学会賞を受賞し、2009 年には日本人で初めて欧州リウマチ学会賞（EULAR award）を受賞。2019 年のアジア自己免疫会議をはじめ、日本への国際会議誘致にも幅広く取り組んでいる。

別紙 2

平成 30 年度に MICE アンバサダーのご活躍により日本への誘致が決定した会議（一覧）

アンバサダー	家 正則（国立天文台 名誉教授）		
会議名	SPIE Astronomical Telescopes + Instrumentation 2020		
主催団体	国際光工学会		
開催予定日	2020 年 6 月	開催都市	横浜
参加予定人数	2,300 名（外国人 2,000 名）	予定参加国	30 ヵ国

アンバサダー	廣瀬 伸一（福岡大学医学部小児科 主任教授）		
会議名	Asian and Oceanian Epilepsy Congress -AOEC-（アジア太平洋てんかん学会）		
主催団体	日本てんかん学会		
開催予定日	2020 年 5 月	開催都市	福岡
参加予定人数	2,600 名（外国人 1,800 名）	予定参加国	20 ヵ国

アンバサダー	山谷 泰賀（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 計測・線量評価部 チームリーダー 兼務 千葉大学客員教授、横浜市大客員教授、東北大学客員准教授）		
会議名	IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference（IEEE 原子核科学シンポジウムと医用イメージングに関する国際会議）		
主催団体	IEEE NSS-MIC		
開催予定日	2021 年 10 月	開催都市	横浜
参加予定人数	2,200 名（外国人 1,850 名）	予定参加国	50 ヵ国

アンバサダー	寺田 賢二郎（日本計算工学会 前会長、東北大学 災害科学国際研究所 教授）		
会議名	World Congress on Computational Mechanics –WCCM- （世界計算力学会議）		
主催団体	一般社団法人 日本計算工学会		
開催予定日	2022 年 7 月 31 日～8 月 5 日	開催都市	横浜
参加予定人数	3,500 名（外国人 2,500 名）	予定参加国	40 ヵ国

アンバサダー	竹谷内 啓介（日本カイロプラクターズ協会 会長）		
会議名	World Federation of Chiropractic Biennial Congress（世界カイロプラクティック連合世界大会）		
主催団体	一般社団法人日本カイロプラクターズ協会		
開催予定日	2021 年 5 月	開催都市	東京
参加予定人数	1,000 名（外国人 500 名）	予定参加国	50 ヵ国

独立行政法人 国際観光振興機構
総務部 総務・広報グループ
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1
TEL: 03-6691-4850 FAX: 03-6691-8787